

全日本写真連盟広島県本部 2022フリーフォトコンテスト審査結果



主催 全日本写真連盟広島県本部
 応募者数 31人
 応募点数 113点
 審査・講評 関西本部委員 山下 良富

推薦

「仮装ファミリー」 荒木 忠義(広島支部)

親子4人の何処か無機質な近未来の生活を予感させる仮装が、目を引く作品です。頭部にある白い二つの円が一見カグラの縁の様にも見えるのですが、よく見ると光る眼が人物の表情まで想起させます。見えない部分を鑑賞者に読み取らせようとする作者の意図の勝利です。

特選



「輝く海原」 若松 秀敏 (フォトシャッセ)

用紙選びにも拘り、一見平凡な海原風景を光り輝く銀色の海原として印象強く表現された点が光る作品です。通常、ピコラ・メタルなどメタル調用紙は避けられるものですが、その特徴を巧く活かし独特な印象の風景作品に仕上げられた作者の感性が光る作品です。



「水滴」 三次 凱彦 (広島支部)

山肌から湧き出す流れの近くで、ハリガネコクノミダリのような濁りのない清らかな水滴を実に美しく見事に表現された秀作です。水滴の透明感、表面の輝き表現が素晴らしく、画像処理に卓越した技術が見事です。

準特選



「初冠雪の宮島」 原田 今朝弘(広島支部)



「ストリート・ペインティング」
山田 興亜(個人会員)



「大物ゲット!」
三戸 元子
(フォトジェンヌ支部)

特別賞



「天の川橋」 辻 重樹
(サンデーフォト支部)



「餌付け」 朝枝 加津子
(フォトシャッセ支部)

入選



「あばれ祭り」
渥美 和行
(佐伯支部)



「兄と妹」
奥本 泰久
(東広島支部)